

会議録

会議の名称	平成30年度第1回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成30年5月23日 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	第3委員会室（田無庁舎4階）
出席者	<p>【委員】 山谷委員、一方井委員、三澤委員、福田委員、池月委員、平山委員、 笠原委員、秋山委員、塚澤委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員、 渡部委員</p> <p>【事務局】 萱野部長、山田課長、都築ごみ減量係長、岩崎技能長、寶槻技能長、 磯部技能長、星川主査、江崎主任、小島主事</p>
議題	(1) 諮問 (2) 資源物の戸別収集について (3) その他
会議資料の名称	資料No.1 第3回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録 資料No.2 平成30年度廃棄物減量等推進審議会等の流れ（予定） 資料No.3 26市における資源物の収集状況 資料No.4 資源物戸別収集と集積所収集のメリット・デメリット 資料No.5 資源物収集回数 新・旧対照表（案） 資料No.6 びん・かん・ペット・古紙/古布収集量推移 資料No.7 各品目別資源物の出し方（案） 資料No.8 地域 新・旧対照表（案） 資料No.9 収集曜日（例）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
（発言内容等） <ol style="list-style-type: none"> 1 会長から開会の挨拶 2 事務局の人事異動について 3 市長から諮問及び挨拶 挨拶後、公務のため退席 4 事務局より配布資料の確認 5 資料No.1 平成29年度第3回廃棄物減量等推進審議会会議録は承認された。 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諮問 (2) 資源物の戸別収集について 事務局から資源物戸別収集について、資料No.2～No.9について説明 	

(委員からの主な意見)

委員：経費が増大すると思うのですが。また、夏場は、びん・かんの排出量が増えるので収集回数が隔週になるのはどうなのか。

事務局：経費については増額するが、今年度、収集ルート最適化を行い、ある程度の経費の削減ができるので、それを見込んで、今後、戸別収集をどうしていくかを考えていきたいと思っています。収集回数等については、今後、皆さんの意見を伺いながら議論を行っていきたいと考えています。

委員：古紙・古布を月2回で収集するためには、車両台数も必要だし人も必要。しかし、募集しても人は集まらない。高額なパッカー車など買う余裕もない。ご提案したいのですが、主婦が家に置いておきたくない物、雑誌・ダンボールだと思います。新聞は購読者が減少、古着は季節的にほぼ出なくなってくる。是非、2品回収を検討して欲しい。例えば雑誌と古着、ダンボールと新聞のような組み合わせであれば、極端に一つ物に偏った物が集まることもなく、今の人数で対応できると思う。

資料No.5にある収集回数について、今一度ご検討いただきたい。

市民の方に、分別意識を高めてもらうような方法での収集回数・収集品目を是非検討いただきたいと思います。

委員：資料No.7 資源物の出し方について、“ふたのないかご”で、と書いてありますが、隣の武蔵野市では、既に戸別収集を行っており、びんをレジ袋に入れて自宅前に出しているようです。一軒ごとにビンを集積車に入れるので、一番気になるのは、その際の騒がしい音です。今の西東京市は、集積所収集で、びんが入っているかごをそのまま集積車に乗せて、空のかごと乗せかえるだけなので、西東京市はすばらしいと感じているのですが、戸別収集になるとどうなるのか気になります。

事務局：びんの収集方法については、パッカー車に入れてしまうと分別ができないということで、柳泉園には、かごに入れたまま運び込み、施設の2階で分別を行う方法を取っているため、戸別収集とした場合、かごを積んだ平ボディ車で家の前まで行き、びんをかごに移し替えて収集する方法になると考えております。

また、レジ袋での収集については、東久留米市や、その他の自治体の見学にも行って参りましたが、袋を破らないと柳泉園に持ち込めないことから、収集しながらの破袋作業に時間を要し、破いたレジ袋を入れるための大きな袋が満杯になりますと通行人の妨げになり、更には危険を及ぼす可能性があります。

また、西東京市一般廃棄物処理基本計画にもレジ袋の削減について触れておりますし、できるだけレジ袋で出さない収集方法として、ふたのないかごで出してもらう方法を考えているところです。

委員：ふたの無いかごではなく、ふたの無いバケツでも良いつてことなのですか。

事務局：基本的には、自宅にあるものを活用いただければと考えております。

委員：平ボディ車で収集するのは、びんだけということですね。

事務局：そのとおりです。

委員：ダンボールはどの部類に入りますか。収集はしないのですか。

事務局：ダンボールの収集もします。古紙・古布で回収します。

委員：戸別収集は弱者救済には非常に良いと思います。しかしながら、市民目線ばかりに立っているのので、少しは事業者にも何か良い提案をしてください。
私は事業者代表で参加していますので、いつも言っておりますけど、事業者にも、何か、ひとつ、ふたつ、良い提案をしてほしいです。
ダンボールは戸別収集にしても事業者の方に回すので経費がかかるので、ダンボールは戸別収集にしないで集積所のままにすればいいんです。そのように私は思うのです。ダンボールをいちいち戸別収集にしていたら大変なんじゃないですか。そうでもないですか。

事務局：以前から委員の意見はよく伺っております。
ダンボールのみ集積所収集にしますと、集積所からかごを無くして不法投棄が減少したとしても、粗悪なダンボール等が出されることで不法投棄の温床になるという考え方もできますので、資源物を戸別収集にするのであれば、ダンボールも含めた全ての資源物を戸別収集にすると考えております。

委員：どちらにしても、戸別収集は非常に良いことだと思っておりますが、事業者も非常に困っていますので、その辺につきましても検討をよろしくお願いします。

委員：私の居住しているマンションは、何時でも何でもマンションの集積場所に廃棄物を捨てられるのです。びん・かん等、マンション住民以外の人も捨てに来るのです。主婦は、普段から自宅を綺麗に保ちたいと思うと、ごみを目の前から無くして忘れてしまいたい、そうすれば、綺麗になっていると思うことがあるのです。
戸別収集をしたところで、私が気になることは、隔週での収集は良いと思うのですが、それでみんなは我慢できるのですか。ペットボトル・びんについては、洗って2週間自宅で保管しておけば良いのですが、かん類、特に油が入っていたかん類、小バエが発生する季節等、主婦でも洗って2週間保管しておくのは結構手間なのです。やれる人、意識が高い人は良いのですが、やれない人は、結局、集積所等に不法投棄したりして、自己管理ができない方はどうなのかと不安です。

会長：そちらの集合住宅の集積所管理はどなたがなさっているのですか。
管理人さんですか。

委員：管理人さんが、大変な思いをしているので、分別意識が高まる良いチャンスだと思います。上手くいけば良いと思うのですが、実際の生活をリアルに考えると心配になるので、ごみ意識が高まるような周知ができると良いと思っております。

会長：集合住宅のごみ集積所に不適切な排出がされた場合には、管理人さんが二次分別を行っているのですか。大変ですね。
マンションでは、何時、何を出しても良いのですか。

委員：今までは、管理人が扉の鍵の開閉を行っていたのですが、管理人が代わり、常に扉を開けているので、夜に近所の人達が大量のゴミを捨てに来るようになった。

- 会 長：集積所が道路に面した場所にあるのではないのですか。
奥まった場所に移動できないのですか。
- 委 員：敷地が広いので難しいと思うのですが、管理組合で解決していく問題なのでしょうけど、市内にも同じようなことがあった場合、ごみ意識を高めていく良いチャンスだと思っているので上手くいけば良いかと願っています。
- 会 長：道路に面していると起こりやすい問題ですね。集積所を奥に少し移動して見えないようにできると一番良いですね。扉を開けないとごみ置き場に入れないように改造した集合住宅を見たことがあるのですが、綺麗になったと感じました。
構造物の改造に補助金を出している自治体もありますね。
- 委 員：関連でいいですか。私が居住するマンションもそうなのですが、道路を挟んで東久留米市と新座市に隣接しています。マンション住民はちゃんと分別して出すのですが、隣接2市の住民が駅に行く時にごみを捨てるのです。
先ほど、マンションの集積所を奥まった場所にすれば解消するのではとっておりましたが、収集する立場からすると、道路から50m程奥まった場所に設置した場合でも収集は可能なのですか。もし、対応してもらえるのであれば移動して鍵をかけて管理したいと思うのですが。
- 事務局：集合住宅における、ごみの悩みというものは、大なり小なりあると思います。
市では、集積所等のご相談があった場合は、地域を担当している指導員が管理会社や所有者等にご相談をさせていただくことも可能ですので遠慮なく言ってほしいと思います。
なお、奥まった場所の収集につきましては、収集車両が入れてUターンできる場所があれば可能ですが、車両が入れない場所であっても10m程であれば収集できる場合もありますので相談してもらえればと思います。
また、マンション版の戸別収集のような方法を取っている集合住宅もありますので、ご遠慮なく相談していただければと思います。
- 委 員：戸別収集は、市民のごみに対する意識を高めるためには非常に良いと思います。
現在、可燃ごみ等を出す時にカラスや猫対策のために、ふた付きのバケツ等を使用している家庭がほとんどであると思っています。
ただ、資源物の戸別収集では、ふた無しのかごを購入しなければいけないですね。それはそれで良いとは思いますが、風の強い日に外出して不在となる時は、風でふたが何処かに飛んでいってしまうのではないかと心配になります。
私なりに考えてはいるのですが、紐を取り付ければ飛ばないのではないのかと思うのですが、収集員にとっては厄介な問題であると考えております。
それから、かんについては、潰しても構わないのか、潰さない方が良いのか、ご教示願いたいのですが。
- 事務局：ふた付きバケツの件ですが、蓋が本体と一体化されていてペダルを踏んで開けるタイプではなく、ふたが外せるタイプの物であればふた付きバケツでも大丈夫です。
また、飛散防止のための紐等を取り付けたら良いのではないのかとのご提案につきましては、今後、市としても検討材料とさせていただきたいと思います。
現在、飛散防止対策されているところでは、門の所に洗濯バサミと紐を取り付けて

いただき、かごと結わいつけて収集員が伺った際に洗濯バサミを取り外して収集するという方法を取っているところもあります。

もう一点、かんを潰すのか潰さないのかというご質問につきましては、柳泉園では、かんをプレス機にかけて圧着させる関係から、潰し過ぎてしまいますと、かんとかんがからみ合わなくなってしまうので、軽く潰していただくのであれば問題ないのですが、出来るだけ潰さないで出していただければと思っております。

委員：数日間具合が悪い時がありました。その日は資源物の回収日でしたので、着替えて集積所に行くのが大変でしたので、やはり、高齢者に限らず、戸別収集していただけると助かると思えました。隔週での収集ですと、ペットボトルについては多少の不便さを感じますが、びん・かんについては隔週でも気にならないくらいの量だと思っています。

ただ、先ほどもお話がありましたように、夏場にかん類がどれくらい増えるのかが気になります。夏と冬の差は大きいだろうと感じます。

ごみ・資源物収集カレンダーについては、可燃ごみの日は体にしみ込んでいますが不燃ごみの日はカレンダーを見ないとわかりません。

また、資源物については、どのように再利用されたのかを示してもらえば、最初はみんな混乱するでしょうけど、しばらくすれば慣れるのではないかと思います。

また、皆さんがそう思うとは言い切れませんが、自宅の側に集積所がある方は、色々な問題を抱えていると思しますので、戸別収集になるのは良いと感じます。

委員：プラごみについて以前から思っていたことなのですが、物を購入する度にプラ容器に入っているのも、もう少し減らせないものなのかと常々思っています。

委員：高齢者の生活状況が変わってきていると思えます。IT化でタブレットを使って収集ルートの最適化を図っているとのことですが、戸別収集となったら、ごみを出さない家をチェックして、介護サービス等に利用できないものかと思えます。

収集員の手間は増えますが、市全体を見て考えたときに、介護サービス担当の方でチェックしなくても済むよう、例えばIoT等を利用して情報を共有・伝達できれば、全体的に見ても色んなメリットが出てくるのではというのが私の意見です。

ですので、単にごみ収集ということに限らずに、市と収集業者が連絡を取り合えるようなことができるようになれば、より行政サービスの向上に繋がっていくと思えます。事業者の方の考え方・組織についても変わっていかないと、色んなところへの負担が増えていくので、全体的なことを考えてやらないと難しいと思えます。

委員：私が仕事で関わっている方達は、身体に課題を持っている方が多く、ちゃんとごみを出せない人が多いのです。シールを貼られたごみ袋が収集されず家の前に置いてあることが多々あり、資源物も戸別収集になりますと、そういった方達が周りの方から、ちゃんとやっていないと指摘されると思えます。認知症の方、精神の病気を持っている方、ちゃんとごみ出しができない方が地域から排除されるのではなく、戸別収集を始める時は、そういった人達もいる、どのように支援していくのか等、コミュニティが希薄にならないように、地域の中で助け合うことを念頭に入れていただければと思えます。

委員：配布いただいている、ごみ・資源物収集カレンダーの大きさについて、主婦の方に

は良いと思うのですが、若干、大きい感じがするので、卓上に置いて使えるようなサイズの物も作っていただけると良いのですが。

事務局：今後、資源物が戸別収集になり2週間に一度の収集になりますと、当然カレンダーの改訂も必要となります。改訂にあたりましては、審議会の中でのご意見を取り入れ検討していきたいと考えております。

会 長：私は、非常に見やすいカレンダーだと思っております。大きさについては各家庭ケースバイケースだと思います。

事務局：カレンダーの大きさ等につきましては、委員の皆様からの色々なご意見をいただき作られたものだと思っております。今現在の大きさや形になったのも、意味があったのことだと思っております。高齢社会でもありますので、少しでも大きく見やすい、かと言って大き過ぎてもいけないなど、大きさ・見やすさ・色合い等につきましては、今後、工夫をしながら検討させていただきたいと思っております。

会 長：多摩地域は、より細かい収集を行っているので、収集カレンダーがあるんですね。23区では、毎週同じ物を収集しているのでカレンダーは無いのです。電信柱に貼ってあるくらいです。

委 員：エコ羅針盤にも、ごみの出し方等、ちょっとしたことでもよいので乗せていただければ市民の参考になるので良いと思います。

会 長：ありがとうございます。委員の皆様のご意見をたくさんいただきました。それでは、次の議題に入って行きたいと思えます。
議題(3) その他 事務局の方からお願いします。

その他

次回の日程について